

平成 30 年度 社会福祉法人 誠真会 事業計画

【事業計画】

有効求人倍率はバブル期のピークを越え、保育、介護業界にのみならず各業界で人材不足が深刻化している。介護職については 2025 年度に全国で 38 万人が不足することが予想され、当法人にとっても経営継続のため「人材確保」が最優先事項となっている。

対策としては、まず新規採用と職員の定着のため、処遇改善を図らなければならない。例年 5 月であった昇給を早め、介護職をはじめ看護職を中心に処遇改善を行うことにした。この数年、人手不足による人件費の上昇は避けられないであろう。その財源の確保も含め、介護職員処遇改善加算についてはキャリアパス要件を検討し、できる限り上級（高額）を取得できるような制度を整備する。そして「65 歳定年」「週 4 日勤務」など政府が進める「働き方改革」や外国人技能実習生を受入れの労働環境整備も進めていきたい。

さて、平成 30 年の医療保険と介護保険の同時改定はグループホームにとってよい影響をもたらした。医療機関をはじめ介護老人保健施設が在宅復帰を義務付けられたことで入居申込み者が増え、年始より満床運営となっている。この好影響は続くと考えられ、入居者により良い生活を送っていただくため計画的に施設環境とサービスの改善を行いサービスの向上に努めたい。

そして、企業主導型保育事業キッズプラザがしまは、開設から 2 年目を迎え、保護者も施設に対する期待も高くなっている。保育士不足という大きな問題はあるが、多様なニーズへの対応と保育の質の向上させ、働くママを応援する社会の流れを当法人から発信していきたい。

【方針】

多くの人は家族と地域社会とのつながりを保ちながら、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることを望んでいます。その為には、地域において、保育、介護をはじめとする生活全般を支援する体制が必要です。保育、介護、福祉、医療の連携と機能を強化し、地域に根ざした保育・介護・福祉システムの確立を図っていきます。

【目的】

人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供し、地域との交流をはじめ、家族、関係機関、ボランティア等と協力しながら利用者が尊厳をもって地域で暮らすことができるような環境づくりと、次世代を担う子どもたちの健全育成と子育てにやさしい社会の実現を目指す。

【内容】

(1) 人手不足の課題と対応

東海地区の有効求人倍率、労働参加率とも全国平均を大きく上回っており、保育、医療介護業界をはじめ各企業の人手不足はバブル景気以来となっております。歴史的な人手不足を乗り越えるためには処遇改善を行い、働きたくても働けない女性の育児と仕事の両立

支援の強化を図り、また外国人技能実習生など新たな労働者層の受入れるために環境の整備を進めていきたい。

(2) 利用者の確保

昨年度、グループホームの入居率95%となりました。今年度も入居率95%を目指し、安定した利用者の確保のため、各関係機関への営業に努め、また月1回の営業会議を開催し、営業活動の報告と今後の営業活動の方針を検討し活動をしていきます。
キッズプラザながしまについては、保育の質を高めるとともに安定的に園児が確保できるよう地域の企業に共同利用を促し、稼働率90%を目標とする。

(3) 施設機能の見直し

空きベッドの有効活用と入居者候補の確保のため「認知症対応型共同生活短期入所」の認可の準備を進め、「認知症対応型共同生活短期入所」の施設基準となる「専門課程・実践リーダー研修」に3名の職員を参加させ習得し、短期入所の認可と専門性の充実を図りたい。また夢ユニットを「認知症対応型通所介護」へ転換し、「通える」「泊まれる」「入所できる」という様々なニーズに対応できるように多機能化を図りたい。

(4) 医療連携の強化

利用者の健康管理については、隣接する看護師と連携し日常的健康管理を行い。訪問診療については在宅療養支援診療所の佐藤医院と連携を図り、24時間医師が訪問できる体制とする。

(5) 安全対策への取り組み

事故を未然に防ぐために、利用者のADL維持を援助すると共にADLに適した環境の整備を心がける。また災害対策についての取り組みとして、防火、地震対策の重要性を再認識し、災害に対する意識を高め、マニュアルの再点検、定期的（月1回）な訓練を実施いたします。

(6) 職員の資質の向上を目的に研修を行う。

- ・認知症に関する研修
- ・介護職員として接遇の研修
- ・感染症予防に関する研修
- ・保育に関する研修
- ・安全衛生に関する研修

上記以外に、合同研修や各事業所で各職員に応じた外部研修を計画します

(7) 年間行事予定

季節にあった行事を企画する（四季を通じて、できる限り外出をする）
また隣接するシニアプラザがしまやキッズプラザがしまと共に行事を行い交流を図る。（スケジュールについては各施設で定める）

（8）地域福祉への寄与

桑名市が推進する地域包括ケアの構築について、当施設もその役割を担い、また地域における様々な福祉ニーズを把握し、新たな福祉サービス事業に積極的に取り組み、地域と連携を図り、地域福祉の発展に努める。

（9）施設環境の整備

施設については、快適さや居心地の良さを提供するだけでなく、安全を確保し転倒など事故を防ぐなど、安全で安心であることが重要である。現状の施設環境を再検討し、利用者により良い生活とケアを支援する環境づくりに努める。

（10）資源の節約

環境保全のために省エネルギーを心がけ、省資源と運営費削減に努める。

- ・ F A Xなどは、必要な書類に関してのみ印刷し無駄な紙を省きます。
- ・ 精細な室温管理を行い、過度なエアコン利用を防止します。
- ・ 電気機器、器具は、使わないときは電源プラグをコンセントから外して無駄な電力防止に努めます。